

平成23年度第3回町民フォーラム

開催日	平成23年11月22日（火）			
参加者	町民フォーラム参加者32名			
株ぎょうせい	廣地主任研究員			
事務局	企画 G 参事	鳴海 清春	企画 G 総括主査	住吉 英之
	企画 G 主事	中塚 雅史		

○事務局

それでは、定刻になりましたので、第3回目のまちづくり町民フォーラムの方を開催したいと思います。

会議時間も限られていることからフォーラムの方を始めさせていただきます。

○ぎょうせい

皆様ご苦労様です。それでは、前回の続きを早速始めさせていただきます。

若者だったらこういう所で働きたいんじゃないのとか個々に思いつくものを、まず皆さん方がこのラベルに10個それぞれ書いてください。皆さん方に前回書いてもらって戻してある紙にマーカーが塗ってあるのは、そこをもうちょっと個別的に深めてほしいという意味でマーカーを塗ってあります。赤色で私がこういうことを考えてほしいというのを書いた所もあるかもしれませんが、それをまた各チームグループを回りながら伝えていきますので、皆さん方は若者定住対策あるいは少子化対策と言われたときに、こんなことが大切なんだという具体的なもの、雇用だとすれば「雇用

が重要」じゃなく、こういう雇用環境がほしい。こういうことがあったら若者が出来るかもしれない。なるべく、個別具体的に小さなテーマで結構ですから10個書いてください。どっちになってもいいです、定住の部分でもいいし、少子化対策になってもいいですから、一つのくくりの中でこれに10件一人が書き込むという作業をまず最初にやっていただきます。その作業が終わったあと、今度はまたそれを整理していきます。そうすると、個別テーマが10個書ける事になります。例えば、子どもを預かってほしいと言ったときに、保育所の話なのか一時保育の話なのか何でもいいです、個別テーマで10個書いてください。少子化対策といった時に、私は病院・小児科が大切だと思ったら小児科のある病院とか、あるいは出産の時にお腹の子のお兄ちゃんお姉ちゃんがいればそういう子を一時的に預かってくれる場所や保育所の整備、あるいは子ども達が集える、ここはサロンをやっているようですけれども、サロンがあったらいいとか、なるべく細かいものを書いてください。雇用の場というの、就労という部分で考えてください。

企業誘致をしたいと書いている人がいました。じゃあ企業誘致だったら、どんな企業がここに誘致できそうかということイメージして書いてください。それではこれが5枚ずついたら書き始めてください。

(各班作業)

書けたら、はさみで二つに切り分けてください。全員切り分けたら、切り分けたカードをリーダーの人から自分の分を読み上げる。読み終わったら自分の前の模造紙の上に置いてください。

(各班各自発表)

次はその紙を同じようなグループに分けてください。出来れば5~10くらいのグループに分けてください。

(各班作業)

いくつかのグループに分けられた所は、グループ毎に今度は見出しをつけてみてください。

(各班作業)

見出しが書き終わったら、模造紙の何処においたら相互に関連性が出てくるか、それからここでお願いしたいのは若者定住、少子化対策を今考えてもらっています。その時に皆さん方の提案したいものが今まとまってきたわけですから、キャッチフレーズを考

えてください。自分達はこういうキャッチフレーズにしたい、若者定住、少子化対策はこういうキャッチフレーズがあれば分かりやすいというものがあれば、キャッチフレーズを大きく書いてください。

(各班作業)

最後に各チーム発表をしてもらうのですが、そのグループ発表する為の作業に入ります。まず、模造紙をどう使うかは自由です、横書きにしよう、縦書きにしよう自由。それから、自分達がグループ化したカードがあります、そのカードの関連性、今回は若者定住と少子化対策だから、連携していかなければいけないから、対立する相手はいない。でも、このグループとこのグループは近いよねというようなものがあれば、そのものを離れて配置するのか、近くに配置するのか模造紙上にどういうふうに配置したら、グループ発表する時に関連性を説明しやすいかというようなことを考えて、模造紙を縦にするか横にするか考えながら、キャッチフレーズをどこに書いたら自分達の言いたいことが相手に伝わるか、下から積み上げて行こうとするならタイトルが上にあるはず、そうではなく全部が連携するのだとしたら、タイトルは上がいいのか、横がいいのかどこがいいのか。あるいは、定住と少子化の両方を右下に並べて、自分達がグループ化した方がいいのであれば、その時にタイトルがどこにあった方がいいのか。そういうことを

考えながら模造紙に書き込んでください。

(各班作業)

各グループが自分達のグループでまとめたことを発表してもらいます。発表はとりあえず一人にさせていただきますが、グループのメンバーで付けたしがあるのなら、どうぞ付け足しを言ってください。それから他のグループの人達は質問があったり、何か意見があれば言ってあげてください。それでは、7グループお願いします。

○7グループ

まずタイトルを福島のアルファベットの頭文字をちょっと文字ってF(不便を)K(こうして)S(住みよい)M(町へ)ということで、タイトルを付けました。大きなグループ分けですけれども、まず飲食・観光・自然・誘致と企業を一つにしました、それと基盤整備・遊び場・補助・助成・教育・出会い、それと単独でプレゼントという形の10のグループに分けました。

まず、ひとつずつ読み上げていきますけれども、飲食の部分、こちらの方は福島の名産であります、スルメ等を商品化してさらに製品開発をする、ということになっております。もう一つは若者向けの飲食店、飲み屋があるといいなということです。そして最後にススキノみたいなのがあれば、なおいいなということで意見が出ていました。観光の部分ですけれども、宿

泊施設がないということであればいいなということです。それと、観光名所を造るということで、松前との桜の時期の相乗効果を考えまして、その同じ時期に咲く梅林公園を造ったらどうかということの意見がありました。自然の部分ですけれども、自然が豊富ということで、ニセコ町で実施しているレジャーみたいなものがないかなという意見がありました。それと、自然を活かした遊び場なんかあればいいなということです。下にいきまして、遊び場の部分ですけれどもプール・トレーニング室・託児所・広いフロアなんか一つになって遊べるスペースがあればいいなということで、こちらの方は有料化でもOKではないかということです。この下ですけれども、木育の導入ということで木材を使ったおもちゃがたくさんあるフロアがあればいいなということです。その下、児童館、もう一つは大きな本屋などの文化に触れるところがあればいいなということです。それと、もう一つは吉岡と福島地区の両地区に一つずつ中心的な公園があればいいかなと思いました。その隣、基盤整備ですけれども高規格道路の整備ということで、現在1時間30分かかる函館への移動が1時間以内で行けるような状況になればいいかなと思いました。それとその下。今はADSLですけれども、インターネット整備で光ファイバーが通れば色んな面で便利だなということです。その下ですけれども、こちらの方はうちの町独自と

ということで、町外から来た人の受け入れ態勢、空き家の紹介、そこをもっと強化したらどうかというこの意見です。

誘致と企業の部分ですけれども、企業誘致で七重町の大きい会社みたいなのが一つあれば大きな経済効果を生むのではないかとということです。産婦人科があるといいなということと、託児所なんかもあればそこで働く人も確保できるのではないかなと。それとNPO法人がうちはありませんのでそういうものがあれば便利かなと。その隣が大きなショッピングセンターこちら雇用が増えるのではないかなとということです。それと、総合病院があるといい、ということと併せて子どもの医療費も無料化になれば、なおいいかなということで意見が出ていました。それと、こちらは企業スポーツチーム、色んな野球でも陸上でも、特にここは駅伝をやっていますのでそういう走る人、陸上とかの合宿の誘致としてもできないかなとこの意見もでていました。

娯楽施設ということで、既存のトンネル記念館・横綱記念館で映画の上映をしたらどうだろうかとの意見もありました。その下いきまして補助の部分です。補助・助成の部分では、保育所・幼稚園の料金の助成をしてはどうかということ。その隣、地元の高校生を採用した企業への賃金の助成というのをやったら高校生の就職推進につながるのではないかなということで、例として3年間で月500

0円の補助をしてみてはどうかという意見も出ています。それと、冬に灯油代がかかりますので、その部分いくら町で1世帯ごとに補助が出来ないかなということもありました。子どもがいる家庭全てに町から育児手当みたいなものを出せば、育てやすい環境になるのではないかなということと、学校の関係ですけれども給食費の全額の補助をしてはどうかということでもあります。それと、助成の最後ですけれども、子育ての部分で、産んでからではなくて、産めない方のために不妊治療の全額助成、これは1回かなりのうん十万という金額がかかりますので、これをして一人でも多く産んでもらえる環境をつくればいいのかなと思います。それと教育の部分ですけれども、新たに特化した学校ということで、うちの町で言えば相撲が千代の富士・千代の山ということで有名ですけれども、そこに特化した学校づくりをしてはどうかということです。これによって、全国各地から相撲をやりたい人たちが留学みたいな形で入ってくるのではないかなというイメージで、それとスポーツ少年団への助成。子どもの習い事・部活動を増やしたいということの意見が教育の部分でありました。

出合いの部分では、様々な趣味のサークルがあれば色んな交流の場が増えるのではないかなということと、定期的な合コン的なものを開催できれば、その部分でも出合いの場が増えるのではないかなと思いました。最後、

プレゼントの部分ですけれども生まれた子どもへの記念に何かをプレゼントということで、こちらの方は木で出来たイスに名前を彫ってプレゼントするとずっととっておくのかなという事で考えました。それと、小学生が入学したときに、ランドセルをプレゼントしましょうということで、なるべくお金のかからないようにということです。全体の構造ですけれども、まず基盤整備の部分が色々な部分に係わってきます、観光の部分・遊び・企業誘致であったり、教育・出会いという部分にそれぞれ大きく係わってくるのが基盤整備の部分だと思います、それともう一つ自然と基盤整備ですけれども、これは高規格道路を整備すると反対に自然を壊してしまうということがありますので、ここは相反する部分だなということで認識をしております。とりあえず全体の説明は以上です。何か質問があればお願いします。

○ぎょうせい

一つだけ、今日は役場の人達が非常に多いのでお願いをしておきたいのですが、助成金を払うとか補助を出すというのは非常に重要なテーマではありますけれども、日本全体がこの間大騒ぎだったギリシャ、あるいはヨーロッパのような状況、ある意味では日本はもっとひどいわけですよね。そういう中で、町が何か助成金を出すとか補助金を出すというのはなるべく頑張らなければならないと思うんですが、それだけの耐力がこの町に

ないのではなくて、日本にないかもしれない。そうすると、そういう助成とか補助金というものをどうやって町民がお金じゃなくて自分の労力、あるいは自分の能力を変えていくかということもできれば少し考えていただくとありがたいと思います。大変町も苦しい中でやりくりしているのだと思いますし、道は道で一所懸命やっている。でも今日は、できるできないはともかく、皆さんから提案をしていただくことが非常に重要なことだから、完璧に近い提案をしていただきました。でも役場の職員の方達には申し訳ないのだけれども、お金という部分も若干頭のどこかにおいてほしいという気がしました。ありがとうございました。

それでは次、2グループお願いします。
○2グループ

2班です、タイトル遊んで暮らせる町、福島町ということで、タイトルのにはちゃらい感じなんですけれども、内容は充実しているので聞いてください。まず、遊んで暮らせるということで、自分達が楽しくなきゃ生活が出来ないということで、まずレジャー施設というのが結構出てきました。ニセコだったりとか、そういう所のリゾート化のようなことが福島でも出来ないかということで、それプラス個人的な意見としてより生活しやすくするためにはということで、お店、ドラッグストアですとか、安く飲める居酒屋あと消防庁舎の建て替えという人もいましたけれども、バスの本数だとか

が個人的な意見として出てきました。レジャー施設を利用したり、それに働く人ということでお金が大切になってきますので、次の雇用の場ということで雇用の場があれば働く人・お金も増えるし、このレジャー施設も雇用の場の一つになるとしてこういう意見が出てきました。あとは、パートタイマーを増やしたり、大きめの工場を作るとか、あと加工場はやっぱりちょっと臭いとかというイメージの人もいますので、綺麗な加工場ですとか、保育所で預かっている間に奥様達が働ける場所ですとか、そういう簡単な仕事でもいいからそういうものがあればいいという意見がありました。それをする為にも、その共働き世帯への支援として金銭的な支援ですとか、雇用の場なんですけれども福島町に新しく定住する人に金銭的な支援ですとか、開業する人にも土地とか金銭等の支援をするという意見もありました。それで、働きながら生活をしていくために医療機関の充実ということで、総合病院とか、産婦人科とか、救急ということで外科もほしいということになりました。生活しながら子育てをしていくということで、福島保育所は働いている人しか入れない保育所と、幼稚園が吉岡に町立が1件で、福島にはキリスト教しかないの、認定保育園のようなものがあればいいとか、保育料も3人ともなれば、高くなってきますので、保育料を安くしてほしいという意見がありました。

保育をして次に教育なんですけれ

ども、高校に進学しても普通科がほしいとか、進学するときにもお金がかかるので支援金がほしいとか、あと町外の学校へ行っても福島町に戻ってくる人に学費を支援するとか、そういう学費の面での支援が必要なのではないかというのがありました。それを福島町の中だけではなくて、北海道内でもアピールをするというところで、他町に自慢できるような特産品を作るとか、福島町の雇用情報をもっと他にも発信するとか、あと防災に関してですけれども、福島町でも安心して生活できるよという防災対策を強化してアピールするという意見が出てきました。アピールはレジャー施設のアピールですとか雇用の場のアピール、こういう金銭的な援助もしますよというアピールということで全部つながるようにグループを全部線でつなげるような形になりました。以上です。何か質問はありますか。

○ぎょうせい

福島商業高校がいくつかのグループでテーマにあがっていたところがあるんですよ、そうすると皆さん方は当然高校を卒業しているわけですよ、それじゃあ皆さん方が福島商業高校の進学率を高めるために何ができるのかというのを今度皆で1回考えてみていただくとありがたいと思うんですよ。それからもう一つ、病院の話が出てきましたけれども、少子化対策で特に妊婦さんにとって何が大事かと、私もNPOの活動をしていても出てくるのは産婦人科が無いとか、近

くに無い、いざとなったらすぐに行ける所が無いというのは妊婦さんにとっては地獄なんです。ですから、これは身近に産婦人科とか総合病院を建てるというのをすぐにできなくても、皆さん方が考えてこういうことで何かをフォローしてあげれば、妊婦さんとかこれから子どもを作りたいと思っているお母さん、お父さん達が何か安心できるんじゃないかというようなことも、どこか頭の片隅にでも置いてあげて、何か思いついたら、例えば町に提案をしてあげるとか自分達で話題にしてみるとかそういうことが大事だと思います。お金やなんかももちろん少子化対策で妊婦さん達はあった方がいいとは言っていますが、実際に自分のお腹の中に子どもを身ごもったお母さん達は何かあったときに何処に相談に行ったらいいのか、自分は何処に行けばいいのかというのは何ともいえない恐怖感だと思います。ですから、子どもを産んだことがある方も育てたことがある方も同じような経験をされると思いますからどうということがあったらいいかなということを考えてあげていただくとありがたい、こんなふうに思います。短い時間の中で大変ありがとうございました。

○3グループ

3班です。まずタイトルの理由が病院・交通・インフラ・物件・企業が土台となって、あとの上の部分は土台がなっていれば他の町の人が福島に来

るだろうということで、いぐべ福島町ということ。まず土台は、病院で多かったのが総合病院を作る、と産婦人科です。物件が、一人暮らしの物件とマンションがほしい、福島町はこういう家族で住んでいるところが多いからこういう意見がでてきました。インフラは、光回線、下水の整備、福島町はこういうインフラがないから来たくないという声もあるので、こういう部分をちゃんと整備していったらいいと思います。交通が、今はない吉岡海底駅をもう一度、一般利用できるようにする。あとは鉄道をもう一回通す。企業が、工場がほしい、トヨタの工場とかIT企業や派遣会社です。上に外の人に来る部分がお店で、ユニクロとイオン。イオンは全部入っているから、他の地域の人でも少し遠くても来る。それで、レジャーが温泉旅館がほしい、映画館がほしい、岩部を世界遺産にするなど。教育は、福島町は水産が有名なので水産高校と大学をつくとこれを含めて、いぐべ福島町と思いました。以上です。

○ぎょうせい

ありがとうございます。質問あるいはグループの人付けたしが何かあれば。

非常によくまとめてくれて、大きなところ、前の二つのグループとは違って、かなり大きなところからきてくれています。だからそういうものを目指すということは非常に重要なことですね、せっかくの提案、水を差すように申し訳ないのですが、皆さん方こ

れからもう一歩考えていただくと、例えば福島もそうですけれども、日本の地方都市がなぜ過疎化や少子化しているんだろう、というふうに考えると全てが一極集中しているわけですね大都市に、そういう時に万が一ここにイオンモールが来てくれたと考えた時に、そのイオンモールにどういう人たちが入ったらいいかというのも考えてほしいんだよね、そうしないと地元の商業者は全部駄目になっちゃう、駄目になってもしこの人数が増えてこない、イオンがどっかに出ていっちゃうわけだよね、今日本の中心市街地が駄目になってきたのは皆スーパーなんか大きなのが出てきて、売り上げが上がらないのが出ていっちゃう。そうすると、残されたのは何もない空洞化という。すごくいい提案なので、今度は中身をどうするかという所を何かの機会があれば考えていってけるとすごくいい提案だと思います。ありがとうございました。じゃあ5グループお願いします。

○5グループ

それでは5班の発表をしたいと思います。5班のキャッチフレーズとして、住みよい充実あふれる福島町ということで設定いたしました。まず大きく二つに分けて子育ての部分と定住促進の部分ということで、グループ分けいたしました、子育ての部分としましては、育児施設の充実その中で託児所付きの施設、店舗を充実していきたいということと保育所・幼稚園、拡大をして親が仕事をしながら考え

ることなく預けられる場所を提供してほしいということでの意見がありました。次に、育児教育ということで、ベビーシッターのような人がいると助かりますというような意見がありました。他にも塾・習い事の場所の充実ということと、育児サロンを作してほしいという意見もありました。あと、子ども達が外で遊べる施設を新緑公園しかないのも、その他にも福島町の特色を存分にだした施設を作してほしいという意見もありました。続きまして、医療についてです。医療の部分については、小児科病院がほしいという意見が多数ありました、その他にも子どものかかる医療費や保育料だとかの無料化をしてほしいという意見もありました。小児科病院の他にも産婦人科もあれば妊婦さんが函館など、遠くに行くことなく出産できるような施設もほしいということでの意見もありました。続きまして、交通整備の拡充ということで、バス路線を増やしてほしいということと、妊婦さんの公共交通料金を無料化してほしいという意見がありました。続きまして、生活・店舗・娯楽施設ということで大型スーパーや本屋さんCDショップ・服屋さんなどの商業施設を増やしてほしいという意見がありました。続きまして、定住促進ということで、まずイベントということで、各関係機関商工会や漁組さん農協さん観光協会さんが連携して共催して、出会いをメインとしたイベントを作ればいいですねという意見もありました。また、

団体・個人関係なく合コンを開きたいという人がいれば出会いの場に対する町からの補助金があればいいですねという意見もありました。続きまして、特産品ということで特産品を拡大して、関連する二次加工の工場なども誘致するべきではないかという意見もありました。真ん中にある就労支援ということで、子育て部分と定住促進の部分に絡んでくるかと思いましたが、意見としては中高生に対して、福島町にある就労場所が色々あってたくさんこういう体験をできるんだよというような体験の時間を増やしたりするべきではないかという意見もありました。その他にも町内で働いている人を集めて、実際の仕事をどういうことをしているんだろうとか、こういう仕事なんですよということを紹介できるような機会を作るべきではないかという意見もありました。一応、定住促進の部分として就労支援子育ての部分として子育てをした子ども達が中学生・高校生になった時にこの部分も絡んでくるのではないかとということで、二つを関連付けてみました。以上です。何か質問ありますか。

○ぎょうせい

僕も納得できるし、いい提案だと思います。お願いしたいのは、若い人たちが働く場、それからこのグループでは最低このくらいあれば生活できるということを書いてくれた人がいるんですね、そうすると福島町は今人口5000人でしょ。月に1000人

の人が月に1500円使ってくれるような場所が一個できると、150万になりますよね。そうすると、サービス業でいうと、高校生なんかはファミレスがほしいとか喫茶店がほしいと言っているんですが、だいたい物の原価は3割、それから人件費がだいたい3割くらいです。都市に行くと若干間接費、店舗のお金も色んなものがかかりますから何とも言えないですが、普通にじゃあ150万で3割人件費に使えたら、若い人だったらもしかしたら二人働けるかもしれない。そういうものが何か考えられるということにつながっていくと。若い人達が大きな企業誘致をしなくても、働く場が出来るかもしれない。この町民が必要としている、何か小さなものがないか、というのを次に考えてあげると今言ったような、子育てとか、お母さんたちが子どもを預けられるとか色んなことも考えれば保育所・幼稚園、大事なものですけれども、それをフォローする何かが発想をたくましくしていくというようなことを次に、これもまた1年後2年後のテーマとして皆さん方に考えていただきたいというような気がします。ありがとうございました。それでは、第6グループお願いします。

○6グループ

6班です。幸せになろう福島町ということで考えたんですけれども、最初に、基盤になるのはこの3つで、手をつないでいるつもりなんですけれども、娯楽施設と店舗と飲食店。それ

で、娯楽施設は今まで出た意見とほとんど一緒ですね、若年層のコミュニケーションの場があったらいいかなと思います。店舗も皆さんと一緒に、例えばドラッグストア・コインランドリー・あとコンビニ以外での24時間の施設。飲食店では、カフェ・若者が集まれるようなファーストフード店あと、珍しい意見でお惣菜屋さんがあれば主婦の方が忙しいのでいいんじゃないかと。この3つがもし建設されたとすれば、当然仕事の面も雇用が出てくると。それで仕事があれば住む場所も必要ということで、町外の人が来た場合住む場所がちょっと足りないような気がするので、住宅も必要だと。仕事の場面で、例えば女性の子どものいる方が仕事をした場合、預かり施設が必要かなと、あと預かり施設だけでなくベビーシッターを派遣する会社とかが町内にあればいいかなと思います。その場合の出産とかの手当てもあればいいと思います。あとインフラです、高速道路を福島までもってくるとというのが大きな部分です。吉岡海底駅で新幹線が通りますから、乗り降りが出来て、例えばそこでイベントとして子ども向けイベントとかできないかなと。インフラとはまた違うんですけど、福島町は特徴的な食材イカとかあるんですけど、特徴的な料理がない。例えばB-1グランプリに出れるようなレベルの料理があれば、福島町を更にPRできるんじゃないかなと思います。あと、学校医療ということで、医療系大学・専門学校を

作って少子化なので子どもを入れちゃえということで。つながっているのは、医療系大学からそのまま医療施設があればそっちにスライドをしていただければ、雇用もできますし、医療の充実化にも繋がるんじゃないかと、それが循環できるようになれば、おのずと少子化も少しは改善されるんじゃないかと思って医療と学校をつなげてみました。というようなところで。以上です。

○ぎょうせい

このグループはだいぶ身近なところの提案だよ、すぐに実行できそうな提案がいくつかありました。そうすると、ここに集まっている皆さん方くらいの年齢の方達が頑張ってくれば出来るものというのが随分あるんだろうなというふうに思うんですね。さっきB-1グランプリなんてものがありましたけれども、あのB-1にはでて来てはいないですが、実はイカで非常に面白いことをやって繁盛している2ヶ月くらい先まで出荷できないというような個人のお店もあるんです。日本全国イカですから、イカが獲れない町はないんですね、そうすると豊富にある食材というのは大量に獲れるイカなのか。そうではなくてここにある他の食材が何かあるのか、というようなことを考えていくと、そのものを皆が少しずつアイデアをだして、皆が何か試してみる事によって大きな職場につながる可能性だってありますよね。そういうふうに考えていくと、こういう提案をしてくれたと

きに、お願いですから皆さん切らないでほしい。今までのチームもそうだけど、せっかくそこまで考えているんだから、何かあったときにこれだと思ったらそういうものをどしどし、皆さんご自身が大きな声をだして、町に提案するなり何なりをしてほしいというふうに思います。ありがとうございます。

それでは最後に8グループお願いします。

〇8グループ

8班はすくすく元気福島町というキャッチフレーズで作ってみました。グループの方ですけれども、娯楽・環境・住環境・仕事・医療・子育てと意見の多い順番に、上の方から並んでいますけれども、基本的には重要なことですので全部輪をというような感じで結んでおります。まず娯楽について、これはほとんどの班が言っていますけれども、ファミレスとかユニクロとか居酒屋とか比較的若い人がすぐ入れるような店がほしいということで、もし作るのであれば一箇所にショッピングセンターとか昭和タウンプラザ、ああいうふうな感じで駐車場を完備した、一回駐車できれば何店舗も行けるようなそういうふうな娯楽施設がほしいということで、意見が出ました。次に、観光なんですけれども、福島町は海もあります、山もあります、せっかくそういう自然がいい場所があるので、そういうところをもう一回再評価して、例えば山の方であると、森林公園に昔キャンプ場があったの

でそれをもう一回整備し直して安心してキャンプが出来るような場所の整備とか、海の方につきましては福島漁港の方にフェリーターミナルがありますので、そこをもう一回再整備して、そこから遊覧できるような体制をとった方が良いのではないかといいことですね。あと、今年横綱海峡ビーチができて、結構多くの方が来ました。そこが火気厳禁とか、食べ物を食べられないとかそういうふうな話もありましたので、そこは別に火を使えるところ、バーベキューが出来るところがほしいというふうな意見も出ていました。あと、住環境なんですけれども、福島は、最近は多いですけれども汲み取り式のトイレの家もまだ多いですから、水洗トイレを整備できる補助があった方がいいのではないかといいふうな意見もありますし、あとは街灯が少ないと、結構夜になると暗い場所が多いということなので、街灯をもう少し増やした方がいいのではという意見も出ていました。自分も実は町外から来ているんですけれども、初めて福島に来た時に結構住んでいる所を探すのに苦労しましたので、町外から来た人のための安価なワンルームマンションがあればいいと、それと併せて、そういう住宅を紹介する産業もないですし、基本的に仕事場とか役場を通して、住宅を提供というか案内をしてもらうという形にもなっていますので、そういう不動産が必要ではないかという意見もでました。あと、仕事なんですけれども企業誘致とい

う考えもあったんですけども、福島町は漁業と農業をやっている方がいますので、そういうふうな後継者の方を育成することも大事なのではないかとということで、そういうふうな後継者が出た場合に補助金を出すというような方法もあるのではないかとという意見もありました。あとは、医療と子育てについては他の班でも出ていましたけれども、産科とか小児科がある病院を増やしてほしいとか、保育所のほうなんですけれども、夜間保育。あと福島の場合加工場とか朝が早いので、早朝保育というような意見も出ていました。あと、子育てなんですけれども、子育てに対しての補助金をもっと増やしてほしいとか、小学生に対して道外研修もしくは海外研修、そういうふうな場を提供できる方法もあるのではないかとというような意見が出ていました。以上で発表を終わります。

○ぎょうせい

ありがとうございました。質問、あるいは付けたしはありませんか。すすく元気福島町って元気になりそうではないですか。ありがとうございました。

短い時間で、約2時間弱3回集まっていたいただいて具体的には前回と今回で、これだけまとめていただいたというのは非常にありがたいと思います。これから先どうするかというのは町の方達が考えてくださっているのもうたまた発表があると思います。ただその前に一つ私のほうから、役割を皆さん

がたに伝えておきたいことは若者定住、少子化対策とありますが、今日の社会のことを考えると何を言われていますか、町づくりで重要なこと。ナンバーワンからオンリーワンってよく聞く言葉ですよ、これからはナンバーワンを目指すのではなくてオンリーワン、ここの町にしかないというようなものをきちんと花を咲かせること、これが重要なんです。そうすると、皆さん方が今日考えてくれたこと、発表してくれたことがどっかに集約してくると、こういうことならこの町はオンリーワンになれる。日本全国1800ある自治体の中でもここしかないもの、出来る可能性がたくさんあります。その時に考えてほしいのはもちろん働く場がなければ生きていくことは出来ません。でも、人は食う・寝る・遊ぶ・学ぶ・憩う・集うとあるわけですね、この場は全部働く場になるんです、別々にあるのではないんです、今ネットワーク社会と言われて、地域があったとすると、色んなものが色んなことで影響されます。その時にかつてはこういう大きなものの中に、ドンと一造ってそれを目玉にして呼ぼうと、昔のリゾートがそうです。でも失敗しちゃいましたよね、日本全国でリゾートに成功しているところなんてほとんどないです。悔しいですが、今から30年前にリゾートの話を経済省と立ち上げたのは私自身なんです、羅臼の方から向こうのリーダーを呼んで来て霞ヶ関で大きなイベントをやりまして、ホテルを借り

切って、でも失敗してしまった。その反省を言うと、それはナンバーワンを目指そうという地域を作ろうと、まだまだバブルが高度成長期でいたから、今はもうそういう時代じゃないんですね。オンリーワンを目指さなきゃいけない。そのとき何がいいかという、色んな小さなものであるかもしれないけれども、ネットワーク型社会というのが今非常に重要なんです。それは何か、一人一人が持っているものが小さくても、ここに5000人の町民がいたとしたらその町民一人一人があるときはリーダーになれる。そういう環境をつくっていくことですから、難しいことではないんですよ。小さなものでもそれが何処とつながっているかによって、大きなあたかも一つの運動体に見えるということが重要なんです。私たちの言葉で言うと、これがネットワーク社会なんです。そういうことを考えながら、今日の提案を私もこれから整理してまた皆さん方町とも相談しますが、是非この町にしかないものはこれだと、ぜひこれを機会に皆で探して行きたいと思しますので、ぜひこういう機会を多く作ってもらって皆で話し合う機会を増やしてもらえたらいい。

とりあえず今日は時間がオーバーしてしまって申し訳なかったんですが、一応皆さん方の提案は受け止めましたので、それをまた整理をしていきたいと思っております。私の方は以上です。ありがとうございました。

○事務局

それでは、皆さん長時間お疲れさまでした。廣地先生もお疲れさまでした。次第の方のその他ということと、事務連絡で一応ご連絡をしたいと思います。資料をめくって1ページを見てもらえれば、最後の下の方の枠に今皆さんからいただいた、提案の部分を役場とぎょうせいの方でまとめて、12月に1度グループのリーダーだけ集まってもらって、今回いただいた提案をこの会としての全体の意見として、まとめて計画につなげていきたいと考えています。皆さん方が全員出席で行う会議については、年明けの1月に、今年度行う計画を次年度町づくり推進会議という町民の方が代表している16名の方がいまして、その会議の場で皆さんから発表してもらって、意見をいただいて、自分達の思いを来年まちづくり推進会議の方につなげていくという格好になりますので、次回のグループリーダーが集まってもらう時にはある程度具体的な話をつめて思いをつなげていくような格好にしたいと思っています。なので、今日の会議の部分でこういう意見を言い忘れたという部分があれば、各自グループリーダーの方に言ってもらいたいと思います。とりあえず12月13日をグループリーダーだけが集まって行う会議としていますので、予定に入れておいてもらえればと思います。皆さんが集まっていた会談については、1月中旬か下旬に報告会という形でまちづくり推進会議の方16名と皆さん方を集めて、第4回目とい

う会議を開きたいと思っています。全体含めて何か質問があれば、無いようなので今日の会議はこれで終了したいと思います。長時間お疲れさまでした。ありがとうございました。